

経済社会の動きを

多面的・実践的に学ぶ

世界を支える人材に。

Faculty of Economics

経済学部

- ▶ 経済学科
- ▶ 経営学科
- ▶ 経済法学科

経済学科

岩崎 康太
大野 悠輔
中津 遼大

佐賀県 伊万里高等学校出身
福岡県 西南学院高等学校出身
福岡県 三池高等学校出身

衛藤 大
河谷 柁輝
西浦 誓七

佐賀県 佐賀西高等学校出身
佐賀県 多久高等学校出身
宮崎県 五ヶ瀬中等教育学校出身

大石 凌
永尾 優祐
森 泰樹

福岡県 八女高等学校出身
福岡県 祐誠高等学校出身
佐賀県 致遠館高等学校出身

〈学部の特徴〉

2020年のコロナ禍によって、私たちは、現代社会がいかに「不安定」なものかを感じ知らされました。全世界で都市封鎖が行われ、国際的・地域的な人の移動が制限され、様々な行事が中止となり、行動様式の転換が求められました。このような混乱状況にあってますます求められるものが、社会科学的思想です。私たちはポストコロナの社会を構想し、実現していかなければなりません。そして、その主役は、皆さんのような未来に生きる若者です。佐賀大学経済学部は、経済学・経営学・法律学の最新知識と思考を教授することによって、ポストコロナを生きる皆さんと社会を支えたいと考えています。

■ 教育目的

経済学部は、経済学・経営学・法律学を柱として社会科学上の知識と教養を授け、経済や社会における課題を分析し、解決できる人材を育成することを教育の目的とします。

■ 在学生インタビュー



理系から経済学科へ。将来は公務員になり、大学での様々な学びを仕事に活かしたい。

高校では理系でしたが、いくつかのオープンキャンパスに行き、友人と話すうちに経済に興味を持つようになり、経済学科に進学しました。経済学の学びは興味深いことも多く、特に数学を用いて経済活動を分析するマクロ経済学やミクロ経済学の授業が好きです。大学に入って大きく伸びたのがプレゼン能力。高校の時に比べるとプレゼンをする機会が一気に増え、回数を重ねるごとに、より質の高いプレゼンができるようになりました。また、友人が熱心に勉強する姿勢を見ることで、大学の講義の重要性を再認識させられました。将来は公務員を目指していますが、大学で学ぶ様々なことを社会人になっても活かしていきたいと思っています。

経済学科
田代 啓晃 福岡県 宗像高等学校出身

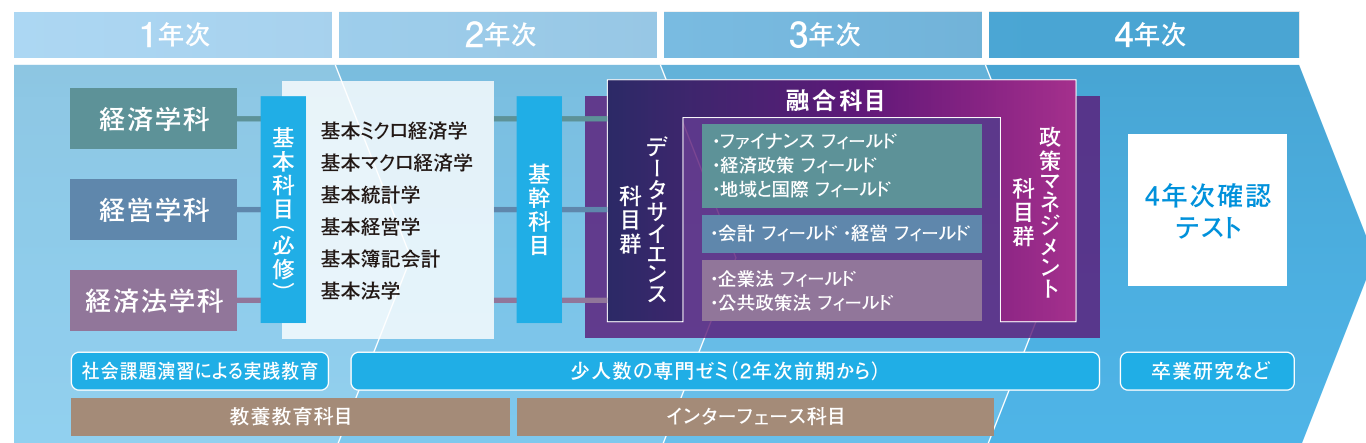
インタビュー動画も
ご覧いただけます



社会科学の土台をしっかりと固め 社会で活躍できる経済人に

01 専門知識を修得し、経済学×法学、経営学×法学の融合に 基づくデータサイエンスと政策マネジメントを実践的に学ぶ

佐賀大学経済学部は、経済、経営、経済法の3学科で形成されており、各学科の専門知識の習得はもちろん、学科融合に基づく総合的で実践的な学習を通じて、ひとつの社会課題を複数の専門知識で見て、思考・判断できる能力を涵養します。社会科学の総合的な思考・判断では、客観的な証拠が求められ、それを提供できるデータサイエンスの技法を習得します。



基幹科目とは？

社会課題を分析していく上で必要となる基礎知識や考え方について、幅広く学ぶ科目です。1年次後期から2年次前期に開講され、基本科目で習得した基礎理論と融合科目で行う実践的な学習をつなぐ内容となっています。

融合科目とは？

経済学部の特徴である経済学×法学、経営学×法学に基づく融合科目は、データサイエンス科目群と政策マネジメント科目群に分岐しており、フィールド別に科目群の専攻科目を組み合わせることで進路に応じた実践的な学習を実現します。2年次6月までに所属する学科の融合科目のフィールドを1つ選択します。

4年次確認テストとは？

経済学部で習得した基本6科目をはじめ、経済学×法学、経営学×法学の融合科目の専門用語、知識、考え方が身に付いているかを確認するために、卒業前に確認テストを実施し、実力を確かめます。



02 少人数ゼミ制で学びを深め、 学生発のプロジェクトを研究・発表

1教員あたり10～20名程度の学生による少人数演習を4年間実施。1年次の社会課題演習では、社会人の実務的な視点を交え経済活動と法律の関係を学習。ここで培った問題意識をもとに2～4年次の演習では、現代社会に必要なデータ分析はじめ専門技能を習得。ゼミプロジェクトで学生主体の社会課題解決プログラムも実施します。

地元企業の調査など、学生主体で行うプロジェクト

亀山ゼミ「企業・行政との連携イベントとデータ分析」

3年次のゼミで、企業や役所と連携してイベントを企画し、参加者にアンケート調査を実施したうえで、データ分析をもとに報告書を作成します。企画力、調整力、分析力などビジネスマナー・スキルが身に付きます。



佐賀市、サガスポーツクラブとの自転車イベント

早川ゼミ「地域雇用課題研究」

厚生労働省佐賀労働局の支援を受け、地域の雇用課題に関する研究に取り組んでいます。最近では、企業による若者のキャリア形成支援の取り組みについて、学生が企業を直接訪問してヒアリング調査を行いました。



佐賀若者就職支援施設ユメタネを訪問

03 外部講師や卒業生と交流して “生”の社会について知る機会も

野村證券や佐賀県弁護士会など学外の専門家による講義を開講しており、第一線で活躍している方々の実践的な知識に触れながら学びを深めることができます。さらに、卒業生との交流会を定期的の実施して、経済界や行政で活躍している先輩たちの生の声を聞き、自分の将来について相談・考える機会を設けています。



外部講師による実体験を交えた講義

実践的な知識を高めるために、野村證券提供の「グローバル時代の資本市場と証券」と日本労働組合総連合会提供の「現代の労働」、税理士による「実践会計」や、佐賀県弁護士会の弁護士による講義などを受講できます。



経済界や行政の卒業生との交流会

経済の現場・なりたい職業に向けてどのような経験を積むべきか、など気になることを、社会で活躍する卒業生たち大学OB・OGからのアドバイスを受け、将来に向けての知識を広げます。



現場を体験する実地研修も実施

海外研修と訪問先大学での討論を行う「国際交流実習」を行います。

04 1年次から国際研修に行き 海外の経済に直に触れる経験を

希望者は1年次から国際研修に行けるのも経済学部の特徴のひとつです。海外で経済の仕組みの違いを身をもって体験したり、現地大学との交流で学生と英語でコミュニケーションを行ったりと、座学だけではわからない生きた知識と経験が得られます。コロナ禍に対応したオンラインプログラムや海外に行くチャンスをもく設けることで、国際的な人材育成をサポートします。また、経済学部独自の外国人留学生受け入れプログラムであるSPACE-ECONにより、学内にいながら国際交流ができるのも特徴です。



タイの大学との交流・研修

カセサート大学の学生とタイの中小企業の視察を行いました。



中国経済を体験する

キャッシュレスが進む中国の状況を実地で体験。浙江理工大学の学生との交流も行いました。

佐賀大学で学んだことをいかし 「内容が伝わる」アナウンスを目指しています。

私は現在、株式会社サガテレビに勤め、アナウンサーとして仕事をしています。アナウンサーと聞くと華やかなイメージを持たれがちですが、実はテレビに出ない仕事が多くほとんどで、日々視聴者の皆さんのために見えないところで頑張っています。在学中は行政法について学びました。行政法は私たちの生活の身近な法律です。報道の仕事をする時には目にする機会が多い法律なので、ニュース内容をわかりやすく伝えることにとても役立っています。自分自身が内容を知らないままだと、視聴者には伝わりませんから。社会人になって3年目。本当に幅広い仕事をしましたが、そんな中でも大事にしてきたのは「初心を忘れない」こと。取材させていただいていることを忘れず、謙虚な姿勢でこれからも働きたいと思っています。(2021年執筆)



株式会社サガテレビ 報道編成制作局
アナウンス室員
橋爪 和泉さん
経済法学科 2019年3月卒業
【業務内容】
インタビュー、取材、ナレーション、ニュース読み、原稿作成と、仕事内容は多岐にわたる。





詳細情報はこちら

地域に貢献できる人材を目指し、勉強に資格取得に頑張っています

高校で興味を持った簿記やマーケティングをより専門的に学びたいと思ったこと、また将来は地元で就職して貢献したいと考えたことから、地域社会に密着した教育を行っている佐賀大学に進学を決めました。好きな授業は経済学史です。古典派経済学や新古典派経済学を学ぶことで、現代経済社会を様々な視点から考察・評価できるようになるところが好きです。本学の魅力の一つは教授とのキョリの近さ。直接話す機会も多く、私たちが理解できるまで丁寧に教えてくださいました。また、大学生になって自由な時間が増えたので、スケジュール管理能力がついたのも大きな成長だと感じています。計画的に勉強し、秘書検定準一級や法学検定などの資格も取得しました。将来は公務員になって社会で活躍できるよう、卒業までの時間を日々精進していきたいと思っています。

経済学科
高尾 天寧 佐賀県 佐賀商業高等学校出身

経済学科の紹介

グローバル化を深める国際社会および現代経済社会の構造について、専門的知識を教授し幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に経済事象を理論的な枠組みで捉える「金融」、経済社会の分析をもとに政策立案を行う「経済政策」、経済を地域・国際の2つの観点から考察する「地域経済・国際経済」に重点を置いた教育プログラムになっています。

主な進路

〈主な就職先〉

●佐賀銀行 ●日本銀行 ●十八銀行 ●西日本シティ銀行 ●福岡銀行 ●親和銀行 ●鹿児島銀行 ●肥後銀行 ●福岡国税局 ●福岡市役所 ●佐賀県庁 ●佐賀市役所 ●久留米市役所 ●鳥栖市役所 ●全日本空輸 ●ANAエアサービス佐賀 ●JTB九州 ●新出光 ●伊藤忠商事 ●九州旅客鉄道(JR九州) ●日本郵政 ●富士通 ●明治安田生命 ●国立病院機構など

〈主な進学先〉

●佐賀大学大学院地域デザイン研究科
●九州大学大学院経済学府修士課程

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3・4年次		
教養教育科目		大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報基礎概論」				
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
		インターフェース科目				
専門教育科目	経済学系科目	●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本統計学 ●統計学(基幹科目A) ●日本経済論(基幹科目A) ●経済学史(基幹科目B) ●地域経済論(基幹科目B)	●演習(2年) ●経済数学(基幹科目B) ●財政学(基幹科目B) ●金融論(基幹科目B) ●証券市場分析 ●現代の労働	●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●国際経済学 ●労働経済学 ●政策評価分析 ●統計学演習	●計量経済学 ●公共経済学 ●都市経済学 ●文化経済学 ●産業組織論 ●経済学演習	●演習(3年) ●演習(4年) ●日本農業論 ●農政経済論 ●経済地理学 ●開発経済学 ●Asian Economics ●アジア経済史 ●日本経済史 ●国際金融論
	経営学系科目	●基本経営学 ●基本簿記会計 ●基本統計学(再掲) ●マーケティングマネジメント(基幹科目A) ●社会情報論(基幹科目A) ●経営管理論(基幹科目B)	●原価計算論(基幹科目B) ●経営組織論(基幹科目B) ●プログラミング(基幹科目B) ●経営労務論(基幹科目B) ●現代の経営	●マーケティングリサーチ ●管理会計論 ●経営戦略論 ●流通経済論	●ファイナンス論 ●経営情報論 ●財務会計論 ●ロジスティクスマネジメント ●ブランド戦略論 ●経営財務論	●流通産業論 ●経営史 ●実践会計
	法学系科目	●基本法学 ●民法総則(基幹科目A) ●人権論(基幹科目A) ●刑法総論(基幹科目B)	●現在政治論(基幹科目B) ●物権法(基幹科目B) ●統治機構論(基幹科目B) ●刑法各論(基幹科目B)	●会社法 ●債権法 ●経済法I ●労働法I	●社会保険法I ●行政法総論 ●環境法 ●自治体行財政分析 ●知的財産法 ●商法 ●行政救済法	●経済法II ●労働法II ●社会保険法II ●民事手続法 ●刑事訴訟法 ●不法行為法 ●国際環境法 ●国際政治学
	その他	●社会課題演習 ●情報処理(基幹科目A)	●ビジネス英語基礎 ●ビジネス・コミュニケーション英語	融合科目		●特殊講義

融合科目 「ファイナンス」フィールド	ミクロ経済学 統計学演習 経済法I	計量経済学 都市経済学 ファイナンス論 財務会計論 経営財務論
融合科目 「経済政策」フィールド	マクロ経済学 労働経済学 政策評価分析 労働法I 社会保険法I	産業組織論 経済学演習 自治体行財政分析
融合科目 「地域と国際」フィールド	国際経済学 政策評価分析 流通経済論	公共経済学 都市経済学 文化経済学 ロジスティクスマネジメント 自治体行財政分析

※各フィールドの科目の太字は融合科目における重点科目(必修)を示す。

授業紹介

日本経済論

経済学が取り組むべきさまざまな問題に対して幅広い関心を育み、専門科目の学習に結びつけていくために、日本経済の基礎知識を身に付けます。

財政学

経済政策の主要な手段である税や公共支出、債務のこれまでの使われ方を振り返り、より効率的な政策展開の方向性を政治制度的背景も考慮に入れつつ模索します。

特殊講義 (Economics for Developing Countries)

アジアを中心に発展途上国についての入門知識と、未発達の問題、開発の概念などを学び、経済発展における現代の主要な経済的問題を議論します。

研究室・ゼミ紹介

計量経済学ゼミ

上山 和俊 准教授



現実の経済データを適用して経済分析を行ったり、経済理論を検証するために必要な計量経済学の基礎理論の修得を目指し、さらなる知識を深めています。

国際金融論ゼミ

張 韓模 教授



国際通貨システムの歴史や仕組みを理解するために、経常収支、為替レート決定の理論、開発途上国の金融問題、基軸通貨ドルの過去と現在などについて学びます。

ゲーム理論ゼミ

吉田 友紀 准教授

2年次でゲーム理論と契約理論の基礎を学び、3年次でそれらを用いた社会や経済の諸問題の分析方法を学び、4年次で既存論文をもとに各自のテーマで卒業論文に取り組みます。

経済学史ゼミ

伊藤 正哉 准教授

近現代の経済社会の基本的仕組みを把握し、自分なりに今日の経済政策を評価できるようになるために、近代経済学の基本的な考え方について理解を深めます。

卒業生の主な卒業論文テーマ

●女性のキャリア継続における課題 ●大分県別府市における観光まちづくりの変遷-地域住民の関わり方に焦点を当てて- ●短時間労働者に対する年金保険適用拡大の影響について ●労働政策とガバナンス ●女性の働き方支援 ●大学生が主体性を身に付けるための教育内容の改善に向けた提案-高大接続を視野に入れて- ●訪日韓国観光客の日本旅行に関する意識調査-佐賀のインバウンド展開の方向性- ●ジョイント分析から見る聖地巡礼者の消費行動の規定要因-佐賀県の「パンピランドサガ」を例に- ●ライブやコンサートのチケット転売問題について-チケットに対する支払意思額から-

教員紹介

張 韓模 教授 国際金融論
金子 晋右 教授 経済史
中西 一 教授 財政学
品川 優 教授 農業経済学
伊藤 正哉 准教授 経済学史
上山 和俊 准教授 計量経済学
谷口 みゆき 准教授 文化経済学
相浦 真二郎 助手
亀山 嘉大 教授 都市経済学
中村 博和 教授 統計学
ディシルバサリヤ 教授 開発経済学
谷 晶紅 准教授 マクロ経済学
蘭田 竜之介 准教授 日本経済論
吉田 友紀 准教授 産業組織論
浅川 慎介 助教 労働経済学
高野 佳佑 講師(9月着任予定) 地域経済学



詳細情報はこちら

共に学ぶことを楽しみながら
教職に向けて
自分の成長を実感中

私の夢は商業科の教員になることです。そのために教職に必要な単位が取れ、教職カルテやセミナーなどのサポートが充実した佐賀大学に進学を決めました。現在は会計を中心に学んでいますが、特に会計学、管理会計論が好きです。高校で習ったことをさらに深く詳しく勉強し、今までの知識と新しい知識が結びついた時に喜びを感じています。また、日商簿記1級の取得に向けて独学で勉強しながら、教員になるために、生徒指導のように教職に必要な講義も受けています。日々「夢に近づいている」という実感が湧き始めているところです。1年生の時はオンラインの授業がほとんどでしたが、2年生になってからは対面授業やゼミ、サークル活動を通して、人と関わることの楽しさを実感しています。勉強に対するモチベーションもグンとあがりました。

経営学科
清水 美優 福岡県 久留米商業高等学校出身

経営学科の紹介

多角化・グローバル化する企業活動を「ミクロの経済システム」として捉え、企業経営に関する専門的知識を教授し、幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に経営管理・経営戦略などの実践的分析能力を身に付ける「経営」、企業経営の成果をシステムとして体系的に説明する「会計」に重点を置いたプログラムになっています。

主な進路

〈主な就職先〉

●岩谷産業 ●オービック ●九州旅客鉄道 ●佐賀銀行 ●サガテレビ ●佐賀電算センター ●JTB ●住友金属鉱山 ●ゼンリン ●TOTO ●西日本電信電話 ●西日本シティ銀行 ●ニトリ ●ニプロ ●日本生命 ●日本政策金融公庫 ●野村證券 ●福岡銀行 ●富士ソフト ●富士通 ●税理士法人諸井会計 ●楽天 ●経済産業省 ●熊本県庁 ●国税庁 ●佐賀県庁 ●佐賀市役所 ●福岡市役所 ●佐賀商業高校など

〈主な進学先〉

●佐賀大学大学院地域デザイン研究科

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3・4年次		
教養教育科目		大学入門科目				
			共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報基礎概論」				
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
		インターフェース科目				
専門教育科目	経済学系科目	●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本統計学 ●統計学(基幹科目A) ●日本経済論(基幹科目A) ●経済学史(基幹科目B) ●地域経済論(基幹科目B)	●経済数学(基幹科目B) ●財政学(基幹科目B) ●金融論(基幹科目B) ●証券市場分析 ●現代の労働	●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●国際経済学 ●労働経済学 ●政策評価分析 ●統計学演習 ●計量経済学 ●公共経済学 ●都市経済学 ●文化経済学 ●産業組織論 ●経済学演習	●日本農業論 ●農政経済論 ●経済地理学 ●開発経済学 ●Asian Economics ●アジア経済史 ●日本経済史 ●国際金融論	
	経営学系科目	●基本経営学 ●基本簿記会計 ●基本統計学(再掲) ●マーケティングマネジメント(基幹科目A) ●社会情報論(基幹科目A) ●経営管理論(基幹科目B) ●企業論(基幹科目B)	●演習(2年) ●原価計算論(基幹科目B) ●経営組織論(基幹科目B) ●プログラミング(基幹科目B) ●経営労務論(基幹科目B) ●現代の経営	●マーケティングリサーチ ●管理会計論 ●経営戦略論 ●流通経済論	●ファイナンス論 ●経営情報論 ●財務会計論 ●ロジスティクスマネジメント ●ブランド戦略論 ●経営財務論	●演習(3年) ●演習(4年) ●流通産業論 ●経営史 ●実践会計
	法学系科目	●基本法学 ●民法総則(基幹科目A) ●人権論(基幹科目A) ●刑法総論(基幹科目B)	●現在政治論(基幹科目B) ●物権法(基幹科目B) ●統治機構論(基幹科目B) ●刑法各論(基幹科目B)	●会社法 ●債権法 ●経済法Ⅰ ●労働法Ⅰ ●社会保険法Ⅰ ●行政法総論 ●環境法 ●自治体行財政分析 ●知的財産法 ●商法 ●行政救済法	●経済法Ⅱ ●労働法Ⅱ ●社会保障法Ⅱ ●民事手続法 ●刑事訴訟法 ●不法行為法 ●国際環境法 ●国際政治学	
	その他	●社会課題演習 ●情報処理(基幹科目A)	●ビジネス英語基礎 ●ビジネス・コミュニケーション英語	融合科目		●特殊講義
			■ データサイエンス科目群 ■ 政策マネジメント科目群			

融合科目「経営」フィールド	労働経済学 マーケティングリサーチ 経営戦略論 流通経済論 会社法	経済学演習 経営情報論 ブランド戦略論
融合科目「会計」フィールド	ミクロ経済学 管理会計論 経営戦略論 会社法	ファイナンス論 財務会計論 経営財務論 商法

※各フィールドの科目の太字は融合科目における重点科目(必修)を示す。

授業紹介

企業論



企業という存在、株式会社やNPOといった企業の種類、企業不祥事など、企業に関する疑問に対する見方を提示し、深く考察していきます。

経営管理論



消費者や企業で働く立場として、企業について目利きになることを目的とし、主に企業家の立場からの経営管理に関する理論や方法について学びます。

マーケティングマネジメント



マーケティングとは何か、その基本概念および分析手法などについて理解を深めるため、実際のケースを取り上げながら詳しく解説していきます。

研究室・ゼミ紹介

組織マネジメントゼミ

松尾 陽好 准教授



企業およびその組織や戦略に関わる諸問題について、具体的なテーマやその進め方を学生同士で話し合い決定し、研究を深めていきます。

経営財務論ゼミ

野方 大輔 准教授



企業の財務活動に関する基礎知識を身につけ、実際の会計数字や株価データを用いて企業の経営状態を定量的に評価する方法について学びます。

流通経済ゼミ

宮崎 卓朗 教授

企業が顧客ニーズを把握して顧客を獲得するためのさまざまな方法であるマーケティングや、小売業などの流通について理解を深めていきます。

情報科学ゼミ

安田 伸一 准教授

このゼミでは、現在答えの見つかっていない問題や説明のできていない課題を取り上げ、「など」や「その他」という答えに逃げない考え方を学んでいきます。

卒業生の主な卒業論文テーマ

○コーポレートガバナンスの国際比較-所有構造を中心に- ○韓国財閥グループ企業の支配構造及びマネジメントに関する考察 ○日本版DMOの研究 ○コンビニエンスストア業界における脱コモディティ化 ○ホームセンター業界のターゲティング ○日本のキャッシュレス化について ○ディズニーランドはなぜ夢と魔法の王国なのか ○移転価格税制と無形資産取引について ○外食産業による利益追求のための原価管理 ○国家会計とその会計監査

教員紹介

宮崎 卓朗 教授
流通経済論

羽石 寛志 教授
経営情報論

角田 幸太郎 教授
管理会計論

安田 伸一 准教授
情報処理

山形 武裕 准教授
財務会計論

野方 大輔 准教授
経営財務論

山本 長次 教授
経営史

関 庚炫 教授
マーケティング戦略

松尾 陽好 准教授
組織マネジメント論

洪 廷和 准教授
マーケティング論

篠崎 伸也 准教授
ファイナンス論

池田 智子 助手



詳細情報はこちら

充実した学生生活・活動を糧に
佐賀県で地方公務員となり
愛着のある地元のために働きたい

私の目標は佐賀県で地方公務員になることです。そのために最も情報が得やすく、地域社会に密着した教育を行っている本学を選びました。1年次に受けた岩本先生の基本法学が好きだったことから今では岩本ゼミに所属し、佐賀市消費者フェアで公開講座を行ったり、佐賀県の大学生消費者教育推進リーダー養成事業に参加したりと、積極的に活動しています。また、学生団体「Green-Nexus」にも所属し、自然の素晴らしさ・楽しさに触れてもらうことを目標にイベントを開催。仲間と協力してイベントを成し遂げた時の達成感は何とも言えず清たく、また日々の活動を通して一生モノの友情を築くこともできました。大学の講義はレポートやプレゼンテーションが多いため、自分の思いを正確に相手に伝えられるようになったことも大きな成長だと感じています。大学や地域でのつながりや活動が広がるほどに、地方公務員への夢は確かなものになっています。

経済法学科
井上 和希 佐賀県 致遠館高等学校出身

経済法学科の紹介

複雑化・多様化する現代経済社会の規範となる法律について、専門的知識を教授し幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に企業の対外活動・経営管理に必要な法制度を学ぶ「企業法」、地方自治体の行政実務や政策形成に必要な法制度を学ぶ「公共政策法」に重点を置いたプログラムになっています。

主な進路

〈主な就職先〉

●労働基準監督官 ●佐賀労働局 ●福岡出入国在留管理局 ●長崎法務局 ●福岡国税局 ●九州財務局 ●日本年金機構 ●佐賀県庁 ●福岡県庁 ●宮崎県庁 ●山口県庁 ●佐賀市役所 ●福岡市役所 ●長崎市役所 ●佐賀銀行 ●福岡銀行 ●親和銀行 ●日本通運 ●日本郵便 ●木村情報技術 ●医療法人社団高邦会高木病院 ●労働者健康安全機構など

〈主な進学先〉

●九州大学法科大学院

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3・4年次		
教養教育科目	大学入門科目					
	共通基礎科目「英語」					
	共通基礎科目「情報基礎概論」					
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)					
		インターフェース科目				
専門教育科目	経済学系科目	●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本統計学 ●統計学(基幹科目A) ●日本経済論(基幹科目A) ●経済学史(基幹科目B) ●地域経済論(基幹科目B)	●経済数学(基幹科目B) ●財政学(基幹科目B) ●金融論(基幹科目B) ●証券市場分析 ●現代の労働	●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●国際経済学 ●労働経済学 ●政策評価分析 ●統計学演習	●計量経済学 ●公共経済学 ●都市経済学 ●文化経済学 ●産業組織論 ●経済学演習	●日本農業論 ●農政経済論 ●経済地理学 ●開発経済学 ●Asian Economics ●アジア経済史 ●日本経済史 ●国際金融論
	経営学系科目	●基本経営学 ●基本簿記会計 ●基本統計学(再掲) ●マーケティングマネジメント(基幹科目A) ●社会情報論(基幹科目A) ●経営管理論(基幹科目B) ●企業論(基幹科目B)	●原価計算論(基幹科目B) ●経営組織論(基幹科目B) ●プログラミング(基幹科目B) ●経営労務論(基幹科目B) ●現代の経営	●マーケティングリサーチ ●管理会計論 ●経営戦略論 ●流通経済論	●ファイナンス論 ●経営情報論 ●財務会計論 ●ロジスティクスマネジメント ●ブランド戦略論 ●経営財務論	●流通産業論 ●経営史 ●実践会計
	法学系科目	●基本法学 ●民法総則(基幹科目A) ●人権論(基幹科目A) ●刑法総論(基幹科目B)	●演習(2年) ●現在政治論(基幹科目B) ●物権法(基幹科目B) ●統治機構論(基幹科目B) ●刑法各論(基幹科目B)	●会社法 ●債権法 ●経済法Ⅰ ●労働法Ⅰ ●社会保障法Ⅰ ●行政法総論 ●環境法	●自治体行財政分析 ●知的財産法 ●商法 ●行政救済法	●演習(3年) ●演習(4年) ●経済法Ⅱ ●労働法Ⅱ ●社会保障法Ⅱ ●民事手続法 ●刑事訴訟法 ●不法行為法 ●国際環境法 ●国際政治学
	その他	●社会課題演習 ●情報処理(基幹科目A)	●ビジネス英語基礎 ●ビジネス・コミュニケーション英語	融合科目		●特殊講義

融合科目 「企業法」フィールド	マーケティングリサーチ 経営戦略論 会社法 債権法 経済法I 労働法I	経営財務論 知的財産法	融合科目 「公共政策法」フィールド	政策評価分析 社会保険法I 行政法総論 環境法	公共経済学 都市経済学 自治体行財政分析 行政救済法
--------------------	--	----------------	----------------------	----------------------------------	-------------------------------------

※各フィールドの科目の太字は融合科目における重点科目(必修)を示す。

授業紹介

環境法



現代の環境問題の解明と対応に不可欠な環境法について、歴史や基礎的事項を理解し、法がいかに社会を規制しようとしているかを学びます。

社会保障法I



年金保険、医療保険、生活保護など生活困難に直面する者に対して給付を行う社会保障法の基本的な考え方を理解し、あわせて立法的課題を考えます。

知的財産法



著作権、特許、商標、営業秘密、模倣品対策などに関する重要な法規範を説明し、基礎的な知的財産観を育て、法解釈の現状や立法の動向を共有します。

研究室・ゼミ紹介

刑法ゼミ

内山 真由美 准教授



捜査、死刑、刑事施設、更生保護、犯罪被害者、少年非行、交通事故など多数の問題を取り上げ、刑法、刑事訴訟法、刑事政策の基礎を学びます。

民法ゼミ

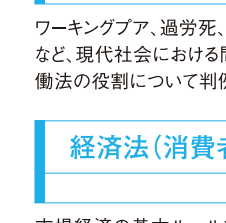
中山 泰道 准教授



欠陥商品の購入、交通事故など種々のトラブルに対してどう解決されているのか、裁判例を素材にして民法を考え、論議し、多面的な視点を養います。

労働法ゼミ

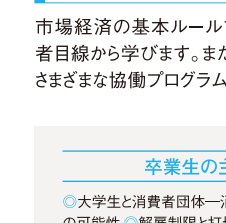
早川 智津子 教授



ワーキングプア、過労死、ハラスメント、リストラ、少子高齢化など、現代社会における問題を取り上げ、これらの問題と労働法の役割について判例などを素材に検討を行います。

経済法(消費者法)ゼミ

岩本 諭 教授



市場経済の基本ルールである独占禁止法について、消費者目線から学びます。また、学生が主体となって自治体とのさまざまな協働プログラムに積極的に取り組んでいきます。

教員紹介

檜澤 秀木 教授 環境法	岩本 諭 教授 経済法・消費者法
早川 智津子 教授 労働法	平部 康子 教授 社会保障法
井上 亜紀 教授 憲法	中山 泰道 准教授 民法
内山 真由美 准教授 刑法	孫 友容 講師 知的財産法